



資料 3

議題 3 オーバーツーリズムについて

観光客の増加に伴う課題



- 国内外の観光需要の急速な回復に伴い、多くの観光地が賑わいを取り戻している。
- 一方で、一部の地域・時間帯においては、混雑やマナー違反による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度の低下への懸念が生じている状況。

オーバーツーリズムの定義

- UNWTO（国連世界観光機関）は2018年9月に発行したリーフレット※において、以下の定義を引用。 ※「'Overtourism'? - Understanding and Managing Urban Tourism Growth beyond Perceptions」
「観光地やその観光地に暮らす住民の生活の質、及び／或いは訪れる旅行者の体験の質」に対して、観光が過度に与えるネガティブな影響」

地域において発生している課題の事例

国土交通省資料より抜粋

北海道・美瑛町



【マナー違反】

○美しい風景の写真を撮るために農地（私有地）への立ち入りが多数発生。

【混雑】

○観光客の車両が集中することで交通渋滞が発生。また、生活道路や農道への違法駐車により、生活交通が妨げられている。

神奈川県・鎌倉市



【混雑】

○鎌倉駅周辺等で多客期において観光客による混雑が発生。

【マナー違反】

○人気アニメの影響で有名な踏切周辺において、写真撮影のため多くの観光客が公道に滞留。

○観光客によるごみの投棄等も問題となっている。

京都府・京都市



【混雑】

○主要観光地へ向かうバスが増便されているものの、これを上回る乗客によりバスターミナルや車内が混雑。

また、大型手荷物の持ち込みにより、円滑な運行に支障。

【マナー違反】

○芸舞妓を無断で写真撮影したり、車道まで広がった歩行、私有地への無断立ち入り等の事例も発生。

“オーバーツーリズム”の未然防止・抑制に向けた対策

観光客の集中による過度の混雑やマナー違反への対応

1. 受入環境の整備・増強

観光客が集中する地域における交通手段や観光インフラの充実

- └ 交通等の対応力増強
- └ 観光客集中地域での道路・歩道整備、無電柱化、ごみ箱設置促進
- └ 観光・交通事業者の担い手確保対策
- └ 手ぶら観光の促進
- └ 観光客向け乗合タクシーなど新たな輸送サービスの検討
- └ 受入環境充実のための入域料の導入

など

2. 需要の適切な管理

実情に応じた入域管理や異なる需要に対応した運賃設定の促進等

- └ バス・鉄道の運賃・料金の柔軟な設定による地域住民と観光客の需要のすみ分け等
- └ イベント開催時等の多客期・多客エリアの混雑抑制
- └ 混雑度やサービスレベルに応じた料金設定
- └ 特定エリアへの入域等の管理・規制
- └ 車両の乗入規制等の交通規制の実施

など

3. 需要の分散・平準化

空いている時間帯・時期・場所への誘導・分散化

- └ 混雑状況の可視化・リアルタイム配信の導入
- └ デジタル技術を活用した空いている観光ルート等の提案
- └ デジタルクーポン等のインセンティブ付与による空いている場所・時間帯への誘導
- └ 夜間・早朝・平日等、空いている時間帯・時期の商品造成

など

4. マナー違反行為の防止・抑制

旅マエから意識啓発を推進し、旅ナカの取組・対策も強化

- └ 啓発設備の設置
ピクトグラムによる周知や看板・デジタルサイネージ等の整備
- └ 違反行為（文化財の破損、立入禁止区域への侵入、ごみのポイ捨て・放置等）への対処
私有地や文化財等への防犯カメラ等の設置支援等

など

神奈川県・鎌倉市



●現状と課題

- 観光客が、時間的、場所的、時季的に集中することで、鎌倉駅周辺、江ノ電長谷駅周辺、江ノ電鎌倉高校前駅踏切周辺などの一部地域で、観光客の過度な混雑、交通渋滞や迷惑行為などが発生している。
- 時季的には、ゴールデンウィークやシルバーウィークといった大型連休期間中をはじめ、初詣の1月、桜や紫陽花が見頃を迎える3月～6月、紅葉の11月、時間的には休日の日中の時間帯、場所的には鎌倉地域等に観光客が集中しており、分散化が課題である。
- 国内外観光客ともに日帰り観光が多い特色がある。
特に外国人観光客については、リピーターは少なく、一過性の者が多いと考えられ、マナー周知をはじめとした取り組みがなかなか浸透しない。
- 観光資源への影響・懸念：ごみのポイ捨て等の迷惑行為によるイメージの悪化
- 住民への影響・懸念：観光客の過度な混雑、交通渋滞やごみのポイ捨て等の迷惑行為による住環境の悪化
- 観光客への影響・懸念：スムーズな周遊の阻害

●対応策

- 観光客の分散・平準化：
 - ・公式ホームページ「鎌倉観光公式ガイド」の改修、混雑可視化システム「鎌倉観光混雑マップ」の改修
 - ・渋滞緩和を目的とした広告展開、混雑駅における誘導員（警備員）配置
- マナー啓発：
 - ・鎌倉市内特定箇所交通誘導業務、八幡宮前交差点における交通誘導員配置、
 - ・ポイ捨て防止のマナー啓発
 - ・街頭防犯カメラの設置
- 受入環境の整備・増強：
 - ・多言語ボランティアガイドによる滞留解消、初詣交通規制に伴う交通誘導員の配置

神奈川県・箱根町



●現状と課題

- 深刻な道路渋滞により路線バスの定時性が著しく損なわれ、一部迂回運行をせざるを得ない状況。
加えて、渋滞による長時間のアイドリングによりほぼ全体が富士箱根伊豆国立公園に含まれている箱根の生態系への影響も懸念される
- 路線バスでは大きなキャリーケースを持ち込む観光客の影響により乗車スペースが圧迫され、地域住民が路線バスに乗りきれない事態も発生している。代替の移動手段となり得るタクシー不足についても顕著となっている
- 道路、公共交通機関、観光スポットの混雑により、円滑な箱根山内の周遊が阻害され、観光客が行くはずだったスポットへ行かないことで箱根の観光事業者の売上機会損失を生んでいる

●対応策

- 観光客の分散・平準化：
 - ・ 「箱根観光デジタルマップ」の活用促進プロモーション
 - ・ 「はこねカーシェア」利用促進プロモーション実施
 - ・ 「箱根観光デジタルマップ」の実装
 - ・ 大涌谷渋滞起点への誘導員配置/箱根ロープウェイ事前予約システムの実証実験
 - ・ 大涌谷周辺および箱根神社周辺におけるパーク&ライド
 - ・ 乗合タクシー実証実験
- マナー啓発：
 - ・ インバウンド向け旅ナカパンフレット
 - ・ WEBによる啓発（バスの乗り方や箱根の周遊の仕方）
- 受入環境の整備・増強：
 - ・ 箱根山内の宿から宿へのキャリーケース配送サービス実証実験
 - ・ 宿から宿へのキャリーケース配送サービス体制整備
 - ・ プロのATガイドである「箱根DMO認定ガイド」育成

オーバーツーリズム未然防止・抑制につながるこれまでの県の取組

需要の分散・平準化

■周遊観光促進事業の推進

例：「GO！かながわ東海道 9つの宿場まちめぐりデジタルラリー」（令和5年度）
「東海道」をテーマに、県内の9つの宿場をはじめとした地域と連携し、「ゆかりの地」や周辺の観光スポットを巡るデジタルラリーを実施した。

■スマートフォン位置情報データの活用

例：鎌倉市との連携
スマートフォンの位置情報データをもとに、観光地の時間帯別の混雑状況の分析結果を共有し、観光客の分散化を促す周辺観光地のプロモーションを実施。また、多言語によるマナー啓発を発信した。

国・市町村との連携

市町村と連携し、情報交換、啓発活動、その他の必要な支援を広域的な見地から行う。
例) 意見交換等のための会議等設定・参加、人流分析レポート等の提供、情報発信等

～ 本日、議論いただきたいこと ～

オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた
「県の役割」について